県内企業 東南ア進出後押し

きょうオープン

【さいたま】埼玉県は東南アジアでビジネス展開する県内企業の相談窓口として、ベトナム・ハノイ市に「埼玉県ベセアンビジネスサポートデスク」を設置し、20日に開業する。県内企業の各種相談に現地で専門担当者が直接対応する。ベトナム、タイなど県内企業が高い事業の拡大を図る東南アジアの経済情報提供、企業との商談設定に応じるほか、製品・技術の売り込みや取引先の発掘などを行う。(東京都渋谷区)に委託し、今後、ベトナムでは現地ハノイ市にある同社内に埼玉県内企業などで構成する現地支援組織を発足させることも検討している。

埼玉県ベセアンビジネスサポートデスクの開業に伴い、中国などのビジネス支援拠点として上海市に埼玉県上海ビジネスサポートデスクを開設、東南アジアでは初めてタイとベトナムで「現地で活動するコーディネーターと提携し企業を支援する体制を構築する。県内企業の東南アジア進出ニーズが増加していることを受け、機能を拡充した。

埼玉県ベセアンビジネスサポートデスクの開業式典は、ベトナムをはじめ東南アジアとの相互ネットワーク作りを進める。

程で上田清司県知事ら県の訪問団がベトナムタイを訪問。現地政府関係者や県内現地進出企業らと意見交換や交流会を開く予定。

また、11月末で県企業立地課にベトナム内の計画投資者職員を研修生として受け入れており、今後も、ベトナムをはじめ東南アジアの県内ネットワーク作りを進める。

建築資材で新ブランド

ハウゼ サンエイ 消費者にアピール

【南与野】ハウゼサンエイ(大阪市中央区、神戸陸史社長、06・4963・8266)は、水切りなど主力の建築資材製品で新ブランドを立ち上げた。ブランド名は「hauseco(ハウゼコ)」。ブランドロゴも新調した。

hauseco

ブランド戦略によって製品イメージを高め、最終消費者へのアピールを強める。この取り組みで、3年後の2012年3月期比6億円増の売上高20億円を目指す。

製品をブランド化して総合提案ができる会社として消費者に印象づける。当面はハウスメーカーのビルダーや設計事務所、デザイナーに提案し周知し、関係ができた段階で消費者に展開する。

新ブランドはエコロジーの「eco」とドイツ語の家「hause」を組み合わせた造語。ロゴはハウゼサンエイの由来である「三栄」から取り、3本の線で太い風、空気の自然な流れを表した。

横顔

建材の色 より見やすく

タイルライフ 大阪府 栗田 敏寿氏

6月22日就任。前職の東京工事事務所長時代には、JR東京駅丸の内駅舎保存・復元工事やJR浦和駅高架化工事などのプロジェクトを担当した。現場第一主義を貫き、就任直後から支社管轄エリアの現場訪問を続けている。

「地域との連携強化」の三つを基本方針に掲げる。特に自身の経験を生かし、「社員一人ひとりと指導」と「社員一人ひとりと指導」と「社員一人ひとりと指導」と